第6節 〔教材2−6〕ワークショップ

「ちがいのちがい」

ねらい

(1) ふだんの生活の中で何気なく見過ごしているさまざまな人権問題上の区別・差別に対して見直していくきっかけとなるようにする。
(2) 当たり前だと感じていたことの中にでも、身近なところに人権にかかわる問題が多く存在していることに気付かせる。

準備

●アイスプレイングを兼ねて、まずグループ分けをし、グループリーダーも決めておく。 (本書、第1章解説「ワークショップについて」参照)
●個人（あるいはグループ）配付用に、「ちがいのちがい」用のカードを用意する。（問題数はクラスや学年の実態によって考慮する）

すすめ方

(1) カードゲーム「ちがいのちがい」について説明する。
(2) 各自それぞれの設問について「あっていいちがい」なのか「あってはいけないちがい」なのか配布されたカードに記入する。その際になぜそのように考えたのかの理由も後の話し合いの際に言えるようにしておく。
(3) 各グループ内でそれぞれの設問について「あっていいちがい」なのか「あってはいけないちがい」のかを話し合う。その際に、なぜそのように考えたのかの理由を大切に話し合い、グループとしての選択をするようにする。
(4) 意見が分かれたカード、判断がでなかったカードは「どちらともいえない」カードとして記入し、最後に全体で検討する。
(5) 時間を切ってグループ討論を終了する。
(6) 1のカードから順番に各グループ毎に代表が「あっていいちがい」「あってはならないちがい」「どちらともいえない」のどれにあたるかを表に記入する。
(7) 意見の分かれたカードを中心に全体で討議する。

応用

自分たちの身近なことから：「ちがいのちがい」を作ってみよう。

(1) 男女の問題だけではなく、世の中に何気なく見過ごしている人権問題が存在していることを例にあげて示してみる。
(2) 各自の悩みや、解決したい課題について、同じように「ちがいのちがい」の設問を作らせ、それについて話し合わせるのも面白い。

〈黒板掲示表の例〉 (本書P.109 M高校人権通信 参照)

<table>
<thead>
<tr>
<th>班名</th>
<th>あっていいちがい</th>
<th>どちらともいえない</th>
<th>あってはいけないちがい</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>キリン</td>
<td>1, 4, 5</td>
<td>3, 7</td>
<td>2, 6, 8</td>
</tr>
<tr>
<td>ゾウ</td>
<td>1, 2, 4, 5</td>
<td>7, 8</td>
<td>3, 6</td>
</tr>
<tr>
<td>ライオン</td>
<td>1, 4, 5, 7</td>
<td>2, 3</td>
<td>6, 8</td>
</tr>
<tr>
<td>クマ</td>
<td>1, 4, 5</td>
<td>3, 7</td>
<td>2, 6, 8</td>
</tr>
<tr>
<td>アライグマ</td>
<td>4, 5, 7</td>
<td>1, 3</td>
<td>2, 6, 8</td>
</tr>
</tbody>
</table>
あなたが考え、グループの決定

<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>あなたの考え（できるだけ理由も書く）</th>
<th>グループの決定（できるだけ理由も書く）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>①</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>②</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>③</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>④</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>⑤</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>⑥</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>⑦</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>⑧</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

★ 自分たちでカードを作ってみよう！そして、友達と話し合おう！
<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>あなたの考え（できるだけ理由も書く）</th>
<th>グループの決定（できるだけ理由も書く）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>①</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>②</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>③</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>④</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>⑤</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>⑥</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>⑦</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>⑧</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

あなたが考えたモデルを見て、あなたの考えに合うと思うか？、「あっていいか？」A、「あってはいけないか？」B、「どちらともいえない」C
あなたの考えとグループの決定

<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>あなたの考え（できるだけ理由も書く）</th>
<th>グループの決定（できるだけ理由も書く）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>①</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>②</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>③</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>④</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>⑤</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>⑥</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>⑦</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>⑧</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

自分たちでカードを作ってみよう！そして、友達と話し合おう！
あなたのお考えとグループの決定

<table>
<thead>
<tr>
<th>あなたの考え（できるだけ理由も書く）</th>
<th>グループの決定（できるだけ理由も書く）</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>①</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>②</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>③</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>④</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>⑤</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>⑥</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>⑦</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>⑧</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

自分たちでカードを作ってみよう！そして、友達と話し合おう！